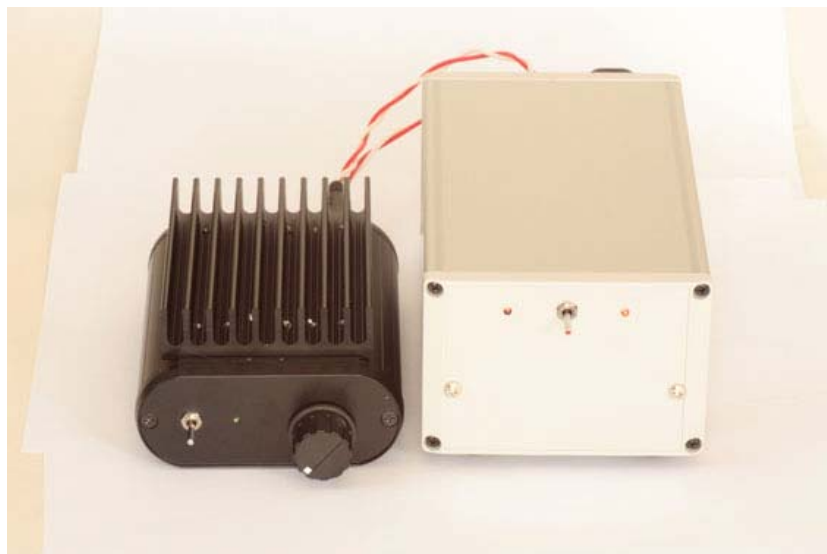


ヒートシンク

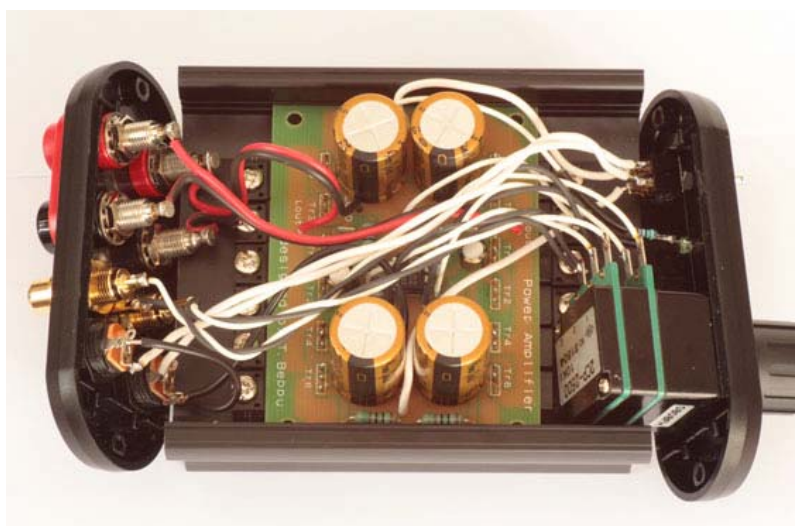
タカチ電機工業 MX4-10-12 ケースでは、放熱が不足です。そこで写真のように、丸三電機 LEX 21F74-100 をケースの外側に取り付けて使っています。ヒートシンクにネジを切り、ケース・フレームごとネジでトランジスタを固定しています。ヒートシンクの熱抵抗は $3.8\text{ }^{\circ}\text{C/W}$ ですので、計算上、これだけでは足りませんが、ケース・フレームもヒートシンクとして働いていますので、さわれないほど熱くなることはありません。

写真の右はアナログ電源です。



基板

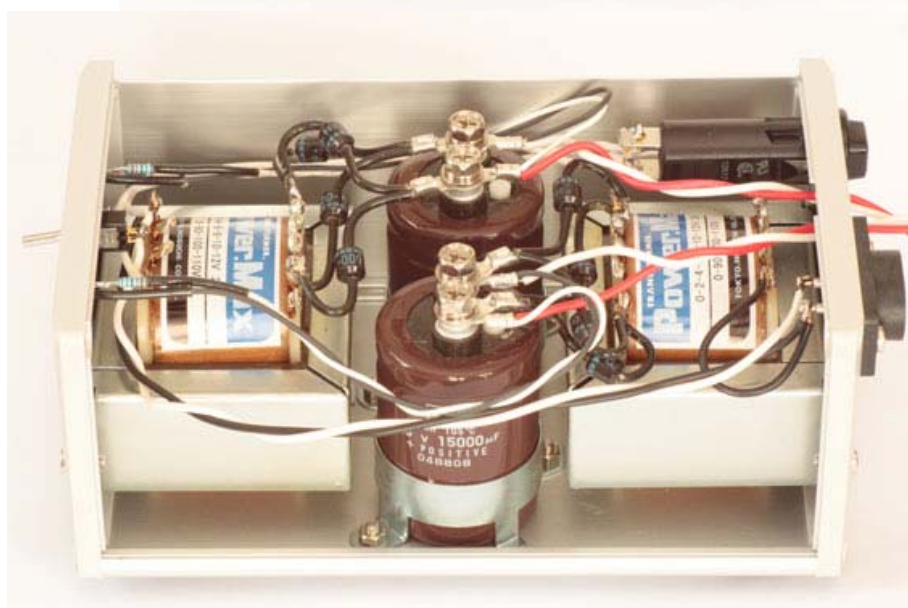
ヘッドホン・アンプと1枚になった基板を作りました。組立は、ずっと楽になります。



電源

当然と言えば当然ですが、スイッチング AC アダプタの比ではありません。自分で言うのも何ですが、7Wアンプが、こんなにいい音だったのかと、再認識させられてしまいました。

近日中に詳細をアップします。



電源スイッチについて

ミヤマの MS245 を使ったのですが、このスイッチの規格は AC 125 V 3A です。ところが、DC ではスイッチをオフするときにアークを発生するため、AC 定格よりも電流容量は小さくなります。アイドルリング時には半分も行かないから大丈夫だろうと用いたのですが、切れなくなってしまいました。

代替品としてフジソク 8A2011 をお勧めします。定格は AC125V 6A です。

使用パーツについて

ボリュームは、東京光音電波の 2CP2500 を使っています。MUSES02 よりもお高いパーツです。しかし、ボリュームをケチると、音もケチられてしまいます。それでもケチるのでしたら、東京光音電波の 2CP601 でしょうか。

Cbias にはブラックゲート BG-PK 10V100 μ F を使いましたが、残り少ないので **4V220 μ F** をお勧めします。ラジオデパートの海神無線で扱っています。